

提供日 2019/11/01  
タイトル マダニが媒介する感染症「日本紅斑熱」に注意しましょう  
担当 健康福祉部 医療健康局疾病対策課  
連絡先 感染症対策班  
TEL 054-221-2986



### —危機管理情報—

**マダニが媒介する感染症「日本紅斑熱」に注意しましょう！**  
**～今年9例目の「日本紅斑熱」が発生し、**  
**過去最高報告数を更新しました～**

## 1 要旨

静岡県伊東市在住の20歳代男性が10月21日に発熱、発疹が出現し近医を受診、血液検査等の結果から、10月29日に静岡県東部地域の医療機関に紹介受診しました。

10月30日に静岡県環境衛生科学研究所で検査した結果、左大腿の皮膚から日本紅斑熱の病原体が検出されたため、「日本紅斑熱」と判明しました。患者は軽症のため外来治療中です。

患者はダニに咬まれた自覚はありませんでしたが、10月中旬に県東部地区での農作業時に日本紅斑熱の病原体を保有するマダニに咬まれたことにより感染したと推定されます。

本県では、今年は本例を含めて9件（5月2件、6月1件、7月2件、9月1件、10月3件）の日本紅斑熱が報告がされており、最も多く報告された平成29年の6件（6月1件、9月4件、10月1件）を更新し続けています。11月中はマダニが活動していますので、秋もレジャーや農作業などで野山や草むら、畑などに入る場合には注意が必要です。

## 2 日本紅斑熱とは

### (1) 感染経路

- 日本紅斑熱リケッチアという病原体を保有する マダニに咬まれることで感染します。
- 人から人へ感染して広がることはありません。

### (2) 症状・治療

- マダニに咬まれてから2～8日で、高熱、発疹を呈し、重症化すると死に至ることもあります。
- 治療の第一選択薬はテトラサイクリン系抗菌薬で、ニューキノロン系抗菌薬が有効という報告もあります。

## 3 注意喚起

(1) マダニに咬まれないようにしましょう！

- 特にマダニの活動が盛んな、春から秋にかけて注意が必要です。
- レジャーや農作業などで、野山や草むら、畑などに入る場合は、帽子、長袖、長ズボン、足を完全に覆う靴を着用し、肌の露出を少なくしてください。
- マダニ用に市販されている忌避剤はありますが、マダニの付着を完全に防ぐことはできませんので、他の防護手段と組み合わせて対策を取りましょう。

(2) 屋外活動後は、マダニに咬まれていないか確認しましょう！

- マダニに咬まれた場合は、数日間、体調の変化に注意しましょう。
- 発熱・発疹の症状が見られたら、早めに医療機関を受診し、マダニに咬まれた可能性があることを伝えましょう。

#### 4 県内の日本紅斑熱の患者数 (人)

令和元年は10月31日時点

本県では、平成12年から令和元年まで24名の患者が届出されており、届出患者の住所地は県東部で21名、県西部で2名、その他(県外)が1名。

	全国	静岡県 ( )内は死亡患者数再掲	患者 性別・年代・住所地・発生月
平成12年	38	1	1.男・60歳代・沼津市・9月
平成25年	175	1	1.女・60歳代・伊豆の国市・7月
平成27年	215	2(1)	1.男・60歳代・沼津市・8月 2.女・70歳代・伊豆の国市・6月※
平成28年	277	2(1)	1.男・70歳代・伊東市・11月 2.女・70歳代・沼津市・5月※
平成29年	337	6(2)	1.女・80歳代・熱海市・6月 2.男・50歳代・伊豆の国市・9月 3.女・70歳代・沼津市・9月※ 4.男・70歳代・沼津市・9月 5.女・80歳代・沼津市・9月※ 6.女・70歳代・沼津市・10月
平成30年	305	3	1.男・50歳代・三島市・3月 2.男・70歳代・伊東市・8月 3.女・70歳代・伊東市・10月
令和元年	266	9(1)	1.男・70歳代・神奈川県湯河原町・5月 2.女・70歳代・熱海市・5月 3.女・50歳代・県西部地区・6月 4.女・70歳代・伊豆の国市・7月※ 5.女・70歳代・熱海市・7月 6.女・40歳代・掛川市・9月 7.男・60歳代・熱海市・10月 8.女・70歳代・駿東郡清水町・10月 9.男・20歳代・伊東市・10月

平成30年の3例は、平成29年10月に発症したが、検体量が少なく平成30年に入って診断された1例を含む。  
※亡くなられた方。